高等学校 令和 4 年度(1 学年用) 教科 芸術 科目 書道 I

 教 科: 芸術
 科 目: 書道 I
 単位数: 2
 単位数

対象学年組:第 1 学年 組~ 組

使用教科書: (書道 I 東京書籍

教科 書道 I

の目標:

「知識及び技能】書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に 「知識及び技能】基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

)

(思考力、判断力、表現力等) を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝 【学びに向かう力、人間性等】 統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 書道 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。	作品の構想と表現の工夫,鑑賞における思考, 判断を身に付ける。	主体的に学習に取り組む態度, 生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。

				表步	1					ı	配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	漢仮	漢	仮	鑑賞	評価規準	知	眨	態	当時数
	A 書写から書道へ 【知識及び技能】用具・用材の特徴 と表現効果との関わりについて理解 できる。用具・用材の特徴と表現効 果との関わりについて理解できる。 日本及び中国等の文字と書の伝統 文化、漢字の等体の変遷、書の伝統 的な鑑賞の方法や形態について理解	と変遷。					【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の 特徴と表現効果との関わりについて理解して いる。用具・用材の特徴と表現効果との関わ りについて理解している。・日本及び中国等 の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変 遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について 理解している。				
	できる。 【思考力、判断力、表現力等】中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。漢字の書の古		0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	0	0	0	4
1 学期	典の価値とその根拠について考ええま書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向から力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字表現をなじりの表現のや質質に基づく表現。となった。 をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書のまたの最近、作品や書の意味を発して、作品や書の意とや美しさを甘受し、作品や書の意に、や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。						【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書の出きや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。				
	B 漢字の書 楷書 【知識及び技能】表現・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについてき理解できる。鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及びついて理解できる。楷書の古典に基づく基	「雁塔聖教序」 「自書告身」 ・教材 教科書 書道道具		0		0	【知識及び技能】共通事項 ※ 表現・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 楷書の古典に基づく線は、字形や構成を生かした表現を身に付けて	0	0	0	18
	C 創作 表現の使い分け 鑑賞 【知識及び技能】共通事項 ※ 用 貝・用材の特徴と表現効果との関わ り、書体や書風と用筆・運筆との関 わりについて理解している。線質、 字形、構成等の要素と表現効果や風 趣との関わり、日本及び中国等の文 字と書の伝統と文化について理解で			0		0	【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の 特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用 筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣 との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝 た文化について理解している。漢字の書の 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古 典の線質、字形や構成を生かした表現を身に	0	0	0	4
字期	D 漢字の書を記する。 「大学学とでは、	教材 教科書 書道道具		0		0	【知識及び技能】共通事質 ※ 関わります。 書体と開始を書いて、	0	0	0	16
	E 創作 四字熟語 鑑賞	・指導事項 古典を生かそう。書					【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の				

	【知識及び技能】共通事項 ※ 用 具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線管、字形、構成等の要素と表現効果や風文を表していて理解でをと書の伝統と文化について理解で字と書の伝統と文化について理解で	・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等		0		0	特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用 筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣 との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝 統と文化について理解している。漢字の書の 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古 典の線質、字形や構成を生かした表現を身に	
	F 平低名の単体 【知識及び技能】用具・用材の特徴 以表現的、線についい。 と用業等と第との関関わり、線につい等で 解表のとの関関かり、構成的り、名の を用等きる。線や重要との関わりに構成的り、名の 所できま現分果や伝統な監賞 の表の文書の伝統な監賞 の表の主要の伝統な監賞 、「提出ので、大法や 、「と、現れ、大力等」 、「と、現れ、大力等」 、「と、現れ、大力等」 、「と、現れ、大力等」 、「と、現れ、大力、大力、自知、自知、自知、自知、自知、自知、自知、自知、自知、自知、自知、自知、自知、	・一人1台端末の活用 等			0	0	【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用 筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えている。 【思考力、判断力、表現力等】自身の表現の意望に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
	G 書初め 【知識及び技能】書初めの歴史的背景を知る。 【思考力、判断力、表現力等】字 形、構成等の要素と表現効果を理解 できる。漢字と平仮名のバランスを 考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】明確 な目標設定を立てられる。	・一人1台端末の活用 等	0			0	【知識及び技能】共通事項 ※ 書初めの歴史 的背景を知る。 【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等 の要素と表現効果を理解している。漢字と平 仮名のバランスを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設 定を立てられる。	
	田 散らし書き 【知識及び技能】用具・用材の特徴 と表現効果との関わり、線質や書風 と用筆・運筆との関わりについて解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 古典 の書風に即した用筆・運筆 工夫で 全体の構成について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】自身 の表現の意図に基づく表現、仮名の 古典の表現の特質に基づく表現をす る幅広い表現の学習活動に主体的に 取り組むことができる。	・一人1台端末の活用 等			0	0	【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用 筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
3学期	【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解できる。	教材 教科書 書道道具一人1台端末の活用 等	0			0	【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や切代理解している。 解している。 との関わりについて選択 別果や風趣との関わりについる。 目的を用途に即然を見た付いる。 目のとのとの関わらに取り、表現の技能を身に付いる。 「思考力、判断力、表現力等」、美学なの構成、いた表現、名筆を生かした表現で出る。表現のとのとのといる。といるといて考え、など、表現にの価値とその根が、ときや、大き、といて考え、といて書き、といて書き、といて書き、といて書き、人に、といて書き、といて書き、といいである。 「意図に基づく表現を有いている。」 「意図に基づく表現を有いている。」 「意図に基づく表現を有いている。」 「意図に基づく表現を有いている。」 「意図に要がしていている。」 「意図に要がしています。」 「意図に要がしていています。」 「意図に要がしていていません。 「意図にないという。」 「意図に基づく表現を描していている。」 「意図に要が、できないと、「では、「ない」」 「の 「の 「の 「の 」」 「の 「の 「の 」」 「の 「の 」 「の 「の 」」 「の 「の 」 「の 「の 」 「の 」 「の 「の 」 「の 「の 」 「の 」 「の 」 「の 「の 」 「の	
							合 計 70	

高等学校 令和4年度 (1学年用) 教科 芸術 科目: 工芸I 単位数: 2 単位

教 科: 芸術

対象学年組:第 1学年 1組~ 6組

使用教科書: (工芸 I 日文)

の目標:

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】

	※一の日仕仏れた道口標	松莲花 口 内容	表	表現鑑		57. / E + P : At	<i>t</i> -0	ш	쓔	配当
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	身	社	賞	評価規準	知	思	悲	時数
1 学	金属を使った透かし彫り 【知識及び技能】 道具の使い方や透かし彫り絵の図 案化を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 表したい図案を簡略化して表現する 【学びに向かう力、人間性等】 自分らしい表現方法を探す	 ・指導事項 (ア) 心豊かな発想 身近な美しい事象を表現する (イ) 制作の構想 透かし彫りのデザインとして図案 化 ・教材 エスキス帳 ケント紙 	0			(ア) 心豊かな発想 身近な美しい事象を表現できているか (イ) 制作の構想 透かし彫りのデザインとして図案化が適切に 表現できているか	0	0	0	14
子 期	金属を使った透かし彫り 【知識及び技能】 糸郷などの道具を使い方や透かし 彫り技法を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 表したい図案を金属で表現する 【学びに向かう力、人間性等】 図案通り金属に表現していく	 ・指導事項 (ア) 素材を活かした表現方法 を身に着ける (イ) 創造したアイデアを具現 化させる ・教材 真鍮板 糸鋸など 	0			(ア) 素材を活かした表現方法ができているか (イ) 創造したアイデアを具現化できているか	0	0	0	12
	木製の箱の表面装飾 【知識及び技能】 電動系網や彫刻刀の使い方 【思考力、判断力、表現力等】 木材を使った箱の制作、彫刻と 使った装飾 【学びに向かう力、人間性等】 使う人の気持ちを考え制作するこ とを学ぶ	 ・指導事項 (ア) 素材を活かした表現方法 を身に着ける (イ) 創造したアイデアを具現 化させる ・教材 彫刻刀 電動糸鋸など 	0	0		(ア) 素材を活かした表現方法ができているか (イ) 創造したアイデアを具現化できているか	0	0	0	16
学期	二色の練り込みマグカップ(陶芸) 【知識及び技能】 陶芸粘土の焼成温度や制作過程を 学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 モザイク模様による図案を制作する 【学びに向かう力、人間性等】 使う人の気持ちを考え制作するこ	 ・指導事項 (ア) 素材を活かした表現方法 を身に着ける (イ) 創造したアイデアを具現 化させる ・教材 陶芸粘土 	0	0		(ア) 素材を活かした表現方法ができているか (イ) 創造したアイデアを具現化できているか	0	0	0	12
3 学	二色の練り込みマグカップ(陶芸) 【知識及び技能】 陶芸粘土の焼成温度や制作過程を 学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 モザイク模様による図案を制作する	 ・指導事項 (ア) 素材を活かした表現方法 を身に着ける (イ) 創造したアイデアを具現 化させる ・教材 陶芸粘土 	0	0		(ア) 素材を活かした表現方法ができているか (イ) 創造したアイデアを具現化できているか	0	0	0	10
期	(1) 鑑賞 工芸の伝統と文化を学び,生活や 社会を心豊かにするために日本の 伝統工芸品を地域ごとに学ぶ	ア 工芸作品などに関する鑑賞 素材別に工芸品を学ぶ イ 工芸の働きや工芸の伝統と文化 に関する鑑賞			0	ア 工芸作品などに関する鑑賞 素材別に工芸品を司会できたか イ 工芸の働きや工芸の伝統と文化に関する 事柄に興味を持てたか	0		0	6 合計 70

 高等学校 令和 4 年度 (1 学年用) 教科 芸術
 科目 美術 I

 科 目: 美術 I
 単位数: 2
 単位

 教 科: 芸術
 科 目: 美術 I

 対象学年組: 第 1 学年 組~ 組

使用教科書: (美術 1 光村図書

科目 美術 I の目標: 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
神的・創造的価値等を認識し、造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり表現方法を	生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化 に対する見方や感じ方を深めることができるよ	に、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな 生活や社会を創造していく態度を養う。

Г	表現									配	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵· 彫	デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	【絵画】自画像	内容:自身の顔を見つめ、漫画調になることなく素直に自分自身を描く。丁寧な観察を何より大切に、てらいなく紙面に表現する。 指導事項:構図、光の捉え方、鉛筆の基本的な使用方法等 教材:鏡(一人1台)、鉛筆、半紙	0				・てらいなく自らを見つめ、丁寧な観察から 得た情報を自身の心情などをを踏まえ積極的 に表現しようとする ・鉛筆の特性を生かし、グラデーションによ る陰影表現で対象を表現することができる ・対象を丁寧に観察し、形態のバランス、 光、量感などを見極め、画面上に表現するこ とができる	0	0	0	2
1 学期		内容:自身の周りに広がる風景に 興味を持ち、その中で気になる風景に 景を色鉛筆によって描く。狙いに より効果的な構図等を選び、町 な観察を大切に、描くことを目指 す。 指導事項:構図、光の捉え方、重 色技法等	0			0	・積極的により良い作品を制作しようとする ・自身の狙いに応じてより良い場所(視 点)、構図を選ぶことができる ・観察や自らの感性で感じ取ったものを、使 用する画材の特性を生かし、創意工夫しなが ら表現することができる ・丁寧でなばり強い観察より得られたもの を、重色技法を用いて表現できる	0	0	0	6
	【デザイン】レタリング・絵画技法	内容:次課題のポスター制作に必要な技法等を学ぶ。 指導内容:レタリングの効用、制 作方法、絵の具による平塗り、グ ラデーション等の方法 教材:アクリル絵の具、画用紙、 定規		0			・レタリングの持つ効用を理解し、平塗り技法を用いて美しいレタリングを制作できる ・既存の書体から変形させる際、創意工夫しながら、より意欲を持って制作に臨むことができる ・絵の具によるグラデーション表現など、デザイン技法に興味を持ち、積極的に取り組む	0	0	0	6
	【デザイン】翔陽祭ポスター	内容:ボスターの効用を理解し、 翔陽祭(文化祭)用のポスターを 制作する。優秀作は学外掲示の可 能性があるため、著作権について も留意しながら制作する。 指導内容:デザインの発想方法、 絵の具による技法各種等 教材:アクリル絵の具、画用紙、			0	0	・ボスターの効用を理解し、自校の特性とポスターという特性を踏まえた上で独自のデザインを考案できる ・絵の具の特性を踏まえた上で効果的な技法を用いて創意工夫をし、制作できる ・積極的に創意工夫をし、より良い作品を制作しようとする	0	0	0	12
2 学期		内容:映像作品における絵コンテの役割を学び、自身でも絵コンテを制作する。ストーリーの考案、カメラワーク等を意識しながら制作する。 指導内容:絵コンテについての説明 教材:プリント、画用紙、色鉛筆			0	0	・映像作品における絵コンテの役割を理解 し、自らも積極的に他者により良く伝達でき る絵コンテを描くことができる ・映像作品になることをイメージしながら創 意工夫をし、起承転結を考え、独自の作品を 考えることができる	0	0	0	2
	【彫刻】木彫	内容:立体であることを意識し、 平面ではできない立体ならではな 表現を目指し、デザインの考案、 彫りによる彫刻を行う。彩色等、 仕上げの方法も学ぶ。 指導内容:立体デザイン法、彫刻 技法 数材:木彫用木箱、彫刻刀、アク	0			0	・平面と立体の違い、立体の特性を理解し、 自らも積極的に立体を生かした図案を考案す ることができる ・彫りの種類を学び、理解し、自身の作品に 取り入れることができる ・彫刻刀、その他の彫刻用具の用法や危険を 理解し、体得することができる	0	0	0	18
3 学	【絵画】日本画	内容:日本画の伝統技法である箱 張りの技術を学び、テーマに沿っ て自身で選んだモチーフを描く。 1年間学習した成果を踏まえ、心 を記した成果をいまない。 指導内容:箔張り技術、水彩画技 法等 教材:日本画ボード、金箔、アク	0				・箔張りの技術を理解し、自らもそれを行うことができる ・自身で選んだモチーフから観察や自らの感性で感じ取ったものを、使用する画材の特性を生かし、創意工夫しながら表現することができる ・積極的により良い作品を制作しようとする	0	0	0	16
期											合 計 62

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和 4 年度 (1 学年用) 教科 芸術(音楽) 科目 音楽 I

 教 科: 芸術(音楽)
 科 目: 音楽 I

 対象学年組:第 1 学年 1 組~ 6 組

 単位数: 2 単位

使用教科書: (高校生の音楽 I

)

教科 芸術(音楽) の目標:

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 う。 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培

科目 音楽 [

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などと の関わり及び音楽の多様性について理解すると ともに、創意工夫を生かした音楽表現をするた めに必要な技能を身に付けるようにする。	ることや、音楽を評価しながらよさや美しさを 味わうことができるようにする。	

表現		₹						配			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	器	創	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	声の響かせ方を身につけ、曲想と歌 詞との関わり、旋律の特徴、言葉の		0				【知識及び技能】 ・曲想と歌詞との関わりについて理解している ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音で表している。 身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりに現意図をもちっている 【学びに発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	4
	器楽《ギター》『きらきら星変奏曲』 変奏曲や編曲について理解するとともに、《きらきら星》の旋律をもとに創意工夫して器楽合奏に親しむ			0			【知識及び技能】 ・ ギターの基礎的な知識、技能を習得する ・ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの 響き、音階や音型などの特徴及び構成との特徴について、表したいイメージと関わらせて 理解している ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために 必要な、音楽を形づくっている要素の働きを 表現する技能を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 個人や器楽アンサンブルで演奏することに 関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている	0		0	10
1学期	歌唱《西洋のうた》『Caro mio ben/サンタ・ルチア』 イタリア語の発音の特徴や、リズムと旋律との関わりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌唱する	・ 歌詞の内容を理解し、表現を工	0				【知識及び技能】 ・ 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて表え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ イタリア語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	6
	楽典『楽譜、音名、音符と休符』 音楽を味わうのに必要な要素となる 楽譜や音に関する知識を理解する	・ 楽譜のしくみを理解する ・ 英・独・伊・日の音名を理解する ・ 音楽表現記号を理解する ・ 音符や休符といった、音楽を再 現するために必要な知識を理解する				0	【知識及び技能】 ・ 音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 知識を学ぶために積極的に取り組んでいる			0	4

	鑑賞 『組曲 動物の謝肉祭/交響詩 魔法使いの弟子』 標題音楽について理解し、情景を思い浮かべながら曲を聴き、登場する人や物、物語の各場面がどのように音楽で表現されているのか、考察する	を読み、情景を思い浮かべながら 曲を聴く				0	【知識及び技能】・標題音楽について理解している・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている 【学びに向かう力、人間性等】標題音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	2
	テット 第1番』	手拍子やボディーパーカッショ		0	0		【知識及び技能】 ・ 曲想と楽器の音色やリズムとの関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととと感受したことととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	8
2学期	合唱 自分にとってイメージが湧きやすい 詩、短歌、俳句などを選んで、音楽 のもとになる「サウンドピース」や 「メロディーの骨格」をつくり、 れをもとに自己のイメージをもって 創意工夫して音楽をつくる	・ 音素材を選び、「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくる	0				【知識及び技能】 ・詩、短歌、俳句から感受したイメージに基づきながら、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽を作る技能及び、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律やつ和音などを引している 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、とと感受したがら、知覚さたこととの関わりについて表現意図をもっている【学びに向かう力、人間といる、「学びに向かう力、人間といる」、イメージと音楽との関わりに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	6
	楽典『拍子、音程』 音楽を味わうのに必要な要素となる 楽譜や音に関する知識を理解する	拍と拍子の違いを理解する音の構造を理解する音程の概念を理解する				0	【知識及び技能】 ・ 音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 知識を学ぶために積極的に取り組んでいる	0		0	10
	鑑賞『民族音楽』 世界各地の民族音楽に触れ、特徴を 理解し、楽器や背景などとの関わり について理解する					0	【知識及び技能】 ・ 民族音楽の概要と、世界の民族音楽や楽器の名称とその特徴を理解してする 【思考力、判断力、表現力等】 ・ リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を自ら味わって聴いている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 民族音楽に関いをもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	6

鑑賞『日本の民謡と民俗芸能』 日本の民謡や民族芸能の分類を知 り、民謡で用いられる音階の特徴や リズム様式を理解した上で、用いら れている楽器、衣装、踊りなどの特 徴を理解する	で用いられる音階の特徴やリズム		0	【知識及び技能】 ・ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴及び文化的・歴史的背景について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について考える。音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 民謡の音楽や文化に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	,	0	0	6
鑑賞『音楽の聴き方』 ボレロについて、曲の構成や工夫を 知り、音楽の聴き方を学び、様々な 奏者の演奏や現代音楽を聴き、表現 の自由や多様さを感じる	聴き、表現の自由や多様さを感じ		0	【思考力、判断力、表現力等】 ・ 曲の構成や工夫を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ・ ボレロや現代音楽に興味・関心をもち、主 体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もう としている	£	0	0	2
鑑賞『ポピュラー音楽』 音楽に関する知的財産権=著作権 ポピュラー音楽のジャンルや、歌詞 に込められたアーティストの主張を 理解し、曲にふさわしい歌い方や表 現を創意工夫してポピュラー音楽に 親しむとともに、芸術活動を支える 著作権について理解する	・ ジャズを鑑賞し、歴史やその特 徴と照らし合わせながら味わう ・ 芸術活動を支える著作権につい		0	【知識及び技能】 ・ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している・ジャズの歴史や特徴について理解している「思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌ったり演奏するかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ ポピュラー音楽や音楽の著作権に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている			0	4
日本歌唱『夏の思い出/待ちぼうけ/ この道』 鼻濁音や、s 音やt 音などの子音の 発音について学ぶとともに、歌詞の 内容や曲の背景を理解し、強弱など に注意して曲にふさわしい表現を創 意工夫して歌う	に注意し、日本語の美しい発音 に留意して歌う ・ 日本歌唱の特徴を理解する ・ 歌詞の内容を理解し、作曲者の 強弱の指示をもとに、ふさわしい	0		【知識及び技能】 ・ 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している【思考力、判断力、表現力等】・ 音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱している 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	8

年間授業計画様式例

都立翔陽高等学校令和4年度 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ 年間授業計画

教 科: 芸術 科 目: 音楽Ⅱ 単位数: 2単位

対象学年組: 第2学年 選択者

使用教科書: (高校生の音楽(教育芸術社))

使用教材 :(

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
		授業の意義と目的を知る 楽語のテストを行う	意欲、関心、態度 筆記	1
	レポート発表 楽典 音名、音符	任意の作曲者について発表を行う 五線譜の読み方、音名、音符(休符)の種類について理解する	意欲、関心、態度ワーク	1
4 月		八分音符(休符)のリズムが正確に叩ける 簡単な旋律が聴音できる 簡単なピアノ楽曲が演奏できる	意欲、関心、態度 実技	4

	指導内容	科目 音楽 II の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	ソルフェージュ		意欲、関心、態度 実技	6
	楽典 楽譜の工夫	バッハの楽譜において、作風について理解する	意欲、関心、態度ワーク	1
5月				
			l I	, I

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	ソルフェージュ	シンコペーションのリズムが正確に叩ける 簡単なコードが聴音できる 簡単なピアノ楽曲が演奏できる	意欲、関心、態度 実技	10
	リズム テスト ソルフェージュ テスト		意欲、関心、態度 実技	1
6 月	標題音楽を鑑賞しよう 「動物の謝肉祭」 「魔法使いの弟子」	標題音楽についての概念を理解し、表現を味わうことができる	意欲、関心、態度ワーク	2

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
フ月	リズム ソルフェージュ ピアノ体験	複合拍子のリズムが正確に叩ける	評価の観点・方法 意欲、関心、態度 実技	3 3

指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8			
月			

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	ミュージカル	「オペラ座の怪人」を扱い、ミュージカルの特徴とすばらしさを知る	意欲、関心、態度ワーク	7
	ヴァイオリンの名曲	メンデルスゾーンの「ヴァイオリンコンツェルト」を扱い、ヴァイオリンの豊かな響きとオーケストラについて学ぶ	意欲、関心、態度ワーク	2
9月	もうひとつのショパンコンクール	ドキュメントを通して、ホールの舞台裏について知り、音楽についての教養を 養う	意欲、関心、態度ワーク	2

	指導内容	科目 音楽 II の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	西洋音楽	ビートルズの楽曲に触れ、西洋のポピュラー音楽を味わう	意欲、関心、態度 実技	4
	ギターコードで弾き歌い「Stand By Me」	ギターでコードを弾けるようにする	意欲、関心、態度 実技	3
10 月				

	指導内容	科目 音楽 II の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	ギターコードで弾き歌い「Stand By Me」	ギターでコードを弾けるようにする	意欲、関心、態度 実技	4
	ギターコードで弾き歌い テスト	ギターでコードを弾けるようにする	意欲、関心、態度 実技	1
1 位 月	リズムで楽しもう「Clapping Quartet No.2」	「Clapping Quartet No.2」を扱い、リズムアンサンブルを経験するとともに、正確なリズムで演奏することができる	意欲、関心、態度 実技	7

	指導内容	科目 音楽 II の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	リズム発表	リズムアンサンブルを発表し、一体感のある演奏ができる	意欲、関心、態度 実技	2
	日本の民謡	日本の民謡を自ら調べ、その地域独自の文化や特徴を理解する	意欲・関心・態度 ワーク	4
1 2 月				

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	BGMを作ろう	簡単なBGMを創作することができる	意欲・関心・態度 ワーク	6
1 月				

	指導内容	科目 音楽 II の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	アカペラ	木下牧子「花のかず」「音楽」を使って、アカペラの持つ透明感のある響きを 味わうことができる	意欲・関心・態度 実技	6
	発声	発声法と音高を正確に取るためのトレーニングを行い、声楽の技量を高めることができる	意欲・関心・態度実技	5
2 月				

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
		木下牧子「花のかず」「音楽」を使って、アカペラの持つ透明感のある響きを 味わうことができる	意欲・関心・態度 実技	2
	発声	発声法と音高を正確に取るためのトレーニングを行い、声楽の技量を高めるこ とができる	意欲・関心・態度 実技	3
3 月	アカペラ テスト	透明感のある響きを造り、曲想にあった表現ができる	意欲・関心・態度 実技	2

年間授業計画様式例

都立翔陽高等学校令和4年度 教科 芸術 科目 音楽Ⅲ 年間授業計画

教 科: 芸術 科 目: 音楽Ⅲ 単位数: 2単位

対象学年組: 第3学年 選択者

使用教科書: (Joy of Music (教育芸術社))

使用教材 : (教科書、楽典

	指導内容	科目 音楽Iの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	オリエン 課題解説 ソルフェージュ	ソナタ形式について理解し、演奏に生かすことができる 簡単な4声体が聴音できる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2
		簡単な4声体が聴音できる 音程について理解し、正確に答えることができる ミュージカルの特徴を理解し、表現することができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2
4 月				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
		簡単な4声体が聴音できる 音程について理解し、正確に答えることができる ミュージカルの特徴を理解し、表現することができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2
		長(短)音階とその調号について、正確に答えることができる PCの特性を活かした作曲ができる	意欲・関心・態度ワーク	6
5月				
			I	1 1

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	現代音楽「PCを使った作曲」	PCの特性を活かした作曲ができる	作品	2
	オペラ	オペラの在り方、歴史を知る	鑑賞シート	4
6 月				
		,		

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	弾き歌いをしよう 楽典 コード	ピアノの弾き歌いができる 代表的な三和音・四和音を理解する	意欲・関心・態度 実技	4
7月				

指導内容	科目 音楽Iの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 3			
1			

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	弾き歌いをしよう イタリア音楽	ピアノの弾き歌いができる イタリア音楽の特徴を理解し、表現できる	意欲・関心・態度実技	6
9月				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	にほんのうた「浜辺の歌」 楽典 和声進行	日本の唱歌の良さを味わい、表現できる 和声進行について理解し、カデンツを使った簡単な作曲ができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	4
	公開演奏会		意欲・関心・態度 実技 ワーク	2
10 月				
				1 1

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	公開演奏会	演奏会開催に必要な流れを理解し、実践できる 演奏会に向けて作曲する	意欲・関心・態度 実技 ワーク	8
11 月				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	公開演奏会	使来公用性に必ずな肌がで性性し、大成くさる 定案会に向けて佐曲子で	意欲・関心・態度 実技 ワーク	4
	公開演奏会	(供欠工と) (作用) (を) (を) (を)	意欲・関心・態度 実技 作品	2
12 月				

	指導内容	科目 音楽Iの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1				
月				

	指導内容	科目 音楽Iの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2				
2 月				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3				
3				

年間授業計画様式例

都立翔陽高等学校令和 4 年度 教科 芸術 科目 教養音楽 年間授業計画

教 科: 芸術 科 目: 教養音楽 単位数: 2単位

対象学年組: 第3学年 選択者)

使用教科書: ()

使用教材 : (

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	レポート・動画発表	楽語のテスト 任意のアーティストについて、紹介する(レポート) 演奏課題について発表する(動画)	意欲・関心・態度 ワーク	2
4 月	楽典 音名、音符	五線譜の読み方、音名、音符(休符)の種類と長さを理解する	意欲・関心・態度	2
	リズム ギター	八分音符 (休符) までのリズムを正確にたたけるようにする ギターの音の鳴る仕組みを理解し、音階が弾けるようになる	実技	2

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
		リズムが正確に叩ける ギターの音階と簡単なコード (G, C, D) の練習	意欲・関心・態度 実技	2
		ギターの音階と簡単なコード (G, C, D) がひける リモート演奏についてやり方を理解し、合奏準備をする	意欲・関心・態度 実技	2
5 月	リモート演奏に挑戦!	リモート演奏の練習をする	意欲・関心・態度 実技	2

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	リモート演奏に挑戦!	リモート演奏の練習をする	意欲・関心・態度 実技	4
	リモート演奏に挑戦!	リモート演奏の動画を完成させる	意欲・関心・態度作品	2
6 月	グループアンサンブル	グループアンサンブルの準備を行い、練習をする	意欲・関心・態度 ワーク 実技	2

指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
グループアンサンブル	グループアンサンブルの練習を行う	ワーク	2
		グループアンサンブル グループアンサンブルの練習を行う	意欲・関心・態度

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	グループアンサンブル発表	任意のアンサンブルを発表し、一体感を味わう	意欲・関心・態度 実技 レポート	2
9 月				
月				

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	楽典 音名、音符	五線譜の読み方、音名、音符(休符)の種類と長さを理解する	意欲・関心・態度	2
10		八分音符(休符)までのリズムを正確にたたけるようにする ギターの音の鳴る仕組みを理解し、音階が弾けるようになる	実技	2
10 月				

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	ギター テスト リモート演奏に挑戦!		意欲・関心・態度 実技	2
	リモート演奏に挑戦!		意欲・関心・態度 実技	4
11 月	グループアンサンブル	グループアンサンブルの準備を行い、練習をする	意欲・関心・態度 ワーク 実技	4

指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
グループアンサンブル	グループアンサンブルの練習を行う	ワーク	2
グループアンサンブル発表	任意のアンサンブルを発表し、一体感を味わう	実技	2
	グループアンサンブル	グループアンサンブル グループアンサンブルの練習を行う グループアンサンブル発表 任意のアンサンブルを発表し、一体感を味わう	グループアンサンブル グループアンサンブルの練習を行う 意欲・関心・態度ワーク実技 意欲・関心・態度 京欲・関心・態度

指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	指導内容	指導内容 科目 教養音楽の具体的な指導目標	指導内容 科目 教養音楽の具体的な指導目標 評価の観点・方法

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
•				
2 月				

指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月			